

十勝川中流部市民協働会議_活動記録 (4)

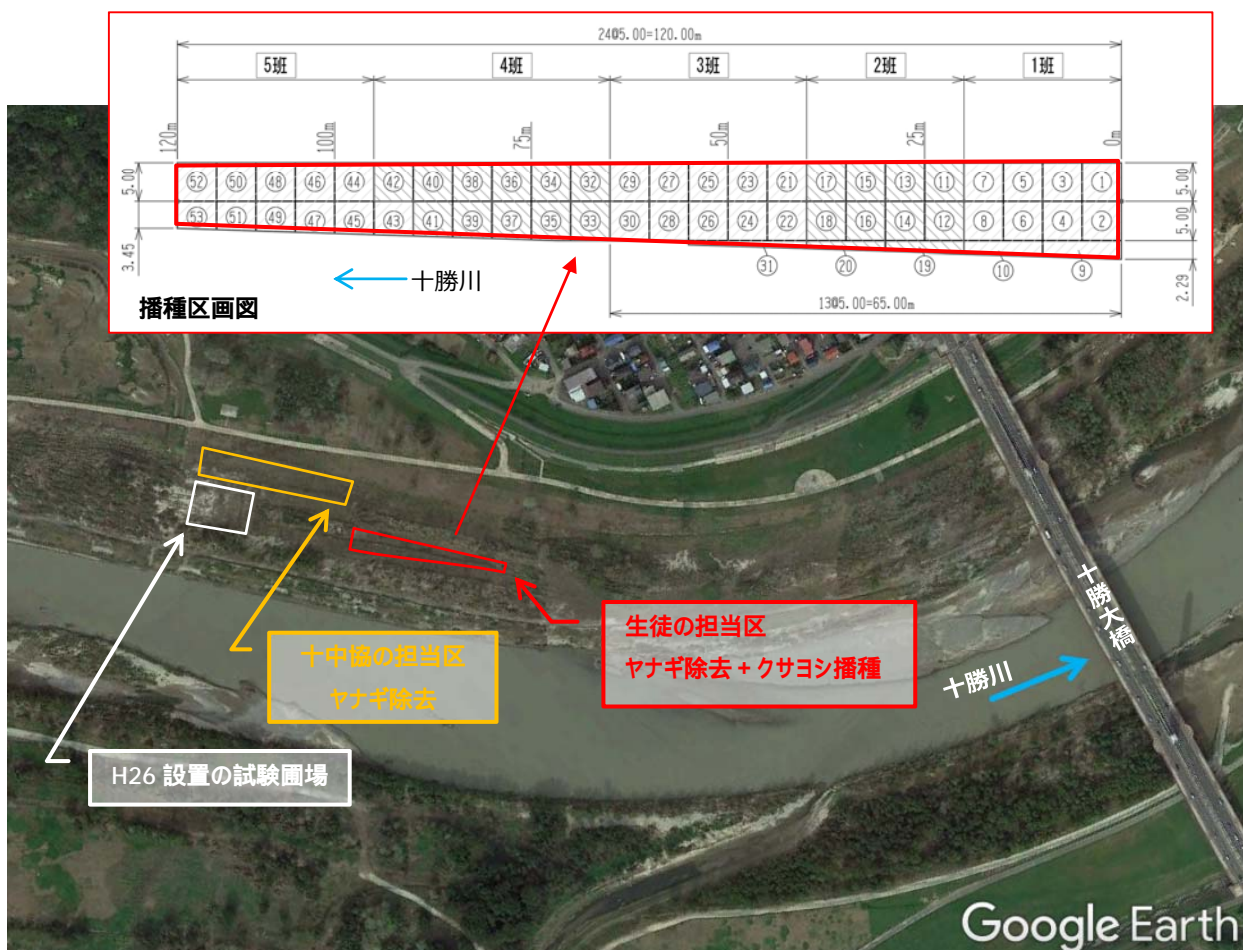
十勝川 十勝大橋上流左岸における播種作業

平成 25 年から平成 27 年の 3 年間、帯広農業高校草地環境クラブの生徒達と進めてきた原生花園の場所が、去る平成 28 年の洪水により、播種・移植してきた植物が流出してしまいました。

その後、ヤナギ類による再樹林化が見られてきたため帯広工業高校環境土木科 2 年生と協働・連携し、再樹林化防止に向けた新たな取り組みを開始しました。

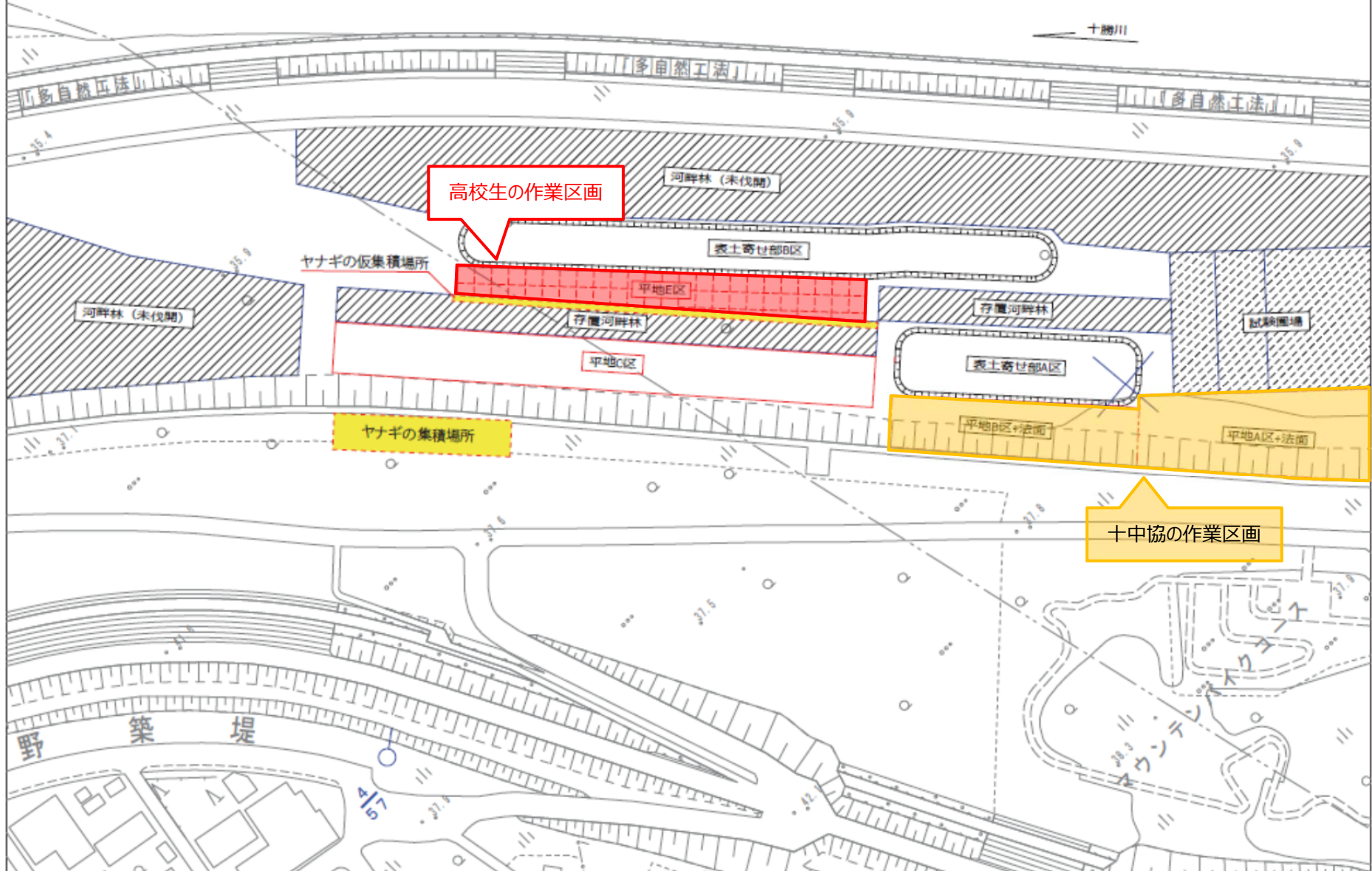
今年の作業は、ヤナギの実生を「根元から抜き取る」、または「根元から切り取る」などの作業と、裸地部の多い場所にはクサヨシを播種しました。

- 日 時：平成 30 年 6 月 7 日 (木) 9 : 00 ~ 15 : 20
- 参加者：環境土木科 2 年生 40 名
十勝川中流部市民協働会議 13 名
河川管理者：帯広開発建設部帯広河川事務所 2 名
- 場 所：十勝川 十勝大橋上流左岸
- 作業内容：ヤナギ類の除去、播種区画位置だし、クサヨシの播種



位置図

平成30年度 工業高校2年生環境土木科実習
(十勝大橋上流左岸伐採跡地におけるクサヨシ播種)



ヤナギの除去・播種の計画図

学校からの出発

朝 8 : 50、校舎前に環境土木科 2 年生 40 名が揃い、朝礼挨拶の後、事務局の室瀬氏からの作業の概略説明を受け、現地に向けて出発をしました。



移動用のバス



室瀬氏から説明の様子

作業説明（十勝川中流部市民協働会議：事務局 穴戸）

作業に当たり、事務局の穴戸氏から作業の概略説明があり、ヤナギの除去方法やクサヨシの播種方法についての説明がありました。作業の効率化を図るため、生徒 40 名を 5 班（1 班 8 名）に分け、各班に十中協事務局の上田、穴戸、岡田、大澤、和田（真）が直接指導に当たりました。

また、当日の天候を考慮し、熱中症への予防、注意喚起等の説明も事務局の鈴木氏からありました。



事務局の穴戸氏からの事前説明の風景



事務局の穴戸氏からの作業説明の風景



熱中症への注意喚起として鈴木氏からの説明風景

作業（1）高校生によるヤナギの除去

高校生によるヤナギの除去は、樹高が比較的低いため手で根から引抜きましたが、なかなか抜きずらいものは、ノコギリや剪定ばさみで根元から切りました。



ヤナギの実生を引き抜く様子



ヤナギを根元から切り取る様子



ヤナギ除去作業の風景



引き抜いたヤナギの集積



ヤナギ除去前



ヤナギの除去後

作業 (2) クサヨシの播種

クサヨシの播種は、幅 5m の区間に 50 cm 間隔で 10 本の溝を掘り、その場所にクサヨシを播種し、全体で、約 $10\text{m} \times 120\text{m} = 1,200\text{m}^2$ に 1 kg のクサヨシを播種しました。



播種する区画割の様子



播種の区画割が終わった状況



クサヨシの種とピートモスを混合する様子



播種する個所を三角ホーで溝を掘る様子



クサヨシの播種する様子



播種後の風景 (下流から上流方向)

作業（3）十中協メンバーによるヤナギの除去

生徒に直接指導を行わない十中協のメンバーは、高校生の播種区画から上流部のヤナギを除去しました。ヤナギの除去は、根から引き抜けるものでは無かったので、根元から刈払い機による除去を行いました。



刈払い機によるヤナギの除去



刈り取ったヤナギを収集する様子



ヤナギ除去前



ヤナギの除去後



ヤナギ除去前



ヤナギの除去後